

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3873500676
法人名	有限会社 SKR
事業所名	グループホームさくら
所在地	愛媛県伊予郡砥部町高尾田 1 0 0 8 - 6
自己評価作成日	平成21年10月1日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年10月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

スタッフ自身の健康管理に十分注意しながら、いつも笑顔で利用者の方と接することができるように、精神のバランスを整えるように努めている。
介護する側の一方的な自己満足にならないように、初心を忘れず、利用者の方の心の奥に潜んでいる思いについて、いつも振り返り考え、反省するように努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

- 散歩の際には地域の方と挨拶を交わされたり、出会った子ども達とふれ合うことも楽しみにされている。ゴミ出し場所の掃除を自主的に利用者とともにされている。地方祭に「お神輿」が立ち寄ってくれた際には、利用者が地域の子供達にお菓子を配ってられる。地域の方からの介護サービス利用に関する電話相談や、施設見学等も受け入れておられる。
- 調査訪問時「盗られた」と訴えておられる利用者の方に、代表者は、居室でお話を聞いておられた。又、「帰りたい」と言われる利用者の方に自宅まで職員が付き添われ、その後、ホームに帰って来られていた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる （参考項目：23,24,25）	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています （参考項目：9,10,19）	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらい 3. 家族の1/3くらい 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある （参考項目：18,38）	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている （参考項目：2,20）	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている （参考項目：38）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている （参考項目：4）	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている （参考項目：36,37）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている （参考項目：11,12）	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらい 3. 職員の1/3くらい 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている （参考項目：49）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている （参考項目：30,31）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらい 3. 家族等の1/3くらい 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている （参考項目：28）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

- 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名

グループホームさくら

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏 名

山本 康正

評価完了日

2009 年 10月 1日

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			その人らしく、今までの暮らし方を大切に、継続性を考えながら、地域の中で暮らしていけるように、毎日の申し送りや、月1回のミーティング、カンファレンスで話し合っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(外部評価)	
			利用者の尊厳を大切に質の高い介護を目指して、又、利用者が地域に根ざした生活ができるよう支えることを理念に掲げておられる。	事業所では、現在の理念を今後、職員で共有して、日々のケアを実践していけるよう、わかりやすく要約していきたいと考えておられた。すべての職員で理念を共有して、今後も質の高いケアを目指していかれてほしい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			地域神社の夏越しや、夏祭り、地方祭への参加、小学生との交流を通して行なっている。	
			(外部評価)	
			散歩の際には地域の方と挨拶を交わされたり、出会った子ども達とふれ合うことも楽しみにされている。ゴミ出し場所の掃除を自主的に利用者とともにされている。地方祭に「お神輿」が立ち寄ってくれた際には、利用者が地域の子供達にお菓子を配っておられる。地域の方からの介護サービス利用に関する電話相談や、施設見学等も受け入れておられる。	
			(自己評価)	
			運営推進会議のときに、役場担当者にも協力してもらい、6月に認知症サポーターキャラバンの説明会を行った。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価)	
			区長、民生委員、ご家族などの出席を依頼し、その中 で気楽に話し合える場をもつように心掛けている。	
			(外部評価)	
			運営推進会議時、出席者に外部評価の意義等の説明を された。会議時に認知症サポーター講座を行い、ご家 族、行政、職員と全ての利用者が参加された。	概ね2か月に1回という定期的な運営推進会議の開催に 向け、取り組みをすすめていかれてほしい。又、地域 の方達も参加しやすいような会議となるよう、アイデ アや工夫について話し合ってみてほしい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価)	
			砥部町、介護保険施設、ケアマネージャー連絡会があ り、3ヶ月に1回テーマを決め、市町村の担当者も一 緒に勉強会をし、質の向上に取り組んでいる。	
			(外部評価)	
			会議時、運営推進会議の趣旨を町の担当者より説明し ていただいたり、毎月、介護相談員の訪問があり、利 用者が「職員には話づらいような事」を聞いてくだ さったり、気付いたことを伝えてもらっている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)	
			身体拘束についての正しい理解が出来るように、月1 回のミーティング時に話し合っている。言葉の拘束につ いても気をつけている。	
			(外部評価)	
			日々のケアの中で拘束について話し合っておられ、職 員同士で確認しながら、否定的な言葉は使わない事等 に心がけておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○ 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待についての正しい理解が出来るように月1回のミーティング時にも話し合っている。	
8		○ 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在のところ必要な方はいないが地域福祉権利擁護事業や成年後見人制度について学んでいる。	
9		○ 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用を予定している方については、ホームの見学や自宅への訪問をし、話し合いの機会を多く持ち、質問内容についても丁寧に説明している。	
10	6	○ 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 面会時や日常生活の中で話し合いやすい雰囲気作りに努め不安や本人や家族の希望を聞き出し、職員間でも話し合いを持っている。 (外部評価) ホーム便りでは、行事時の写真や誕生日の紹介等をされている。ご家族が意見や要望を表しやすいように、ご家族と携帯メールでやり取りされている方もある。代表者は、ご自宅で一人での生活となったご家族への心配りもされている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			必要時やミーティング時に意見を言える場を設けている。	
			(外部評価)	
			代表者や管理者は、職員の意見を聞くようにされており、オムツの当て方やパットの使用についての工夫やケアについても話されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			職員の性格や勤務状況を把握するように努め、意見を取り入れながら努めている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			研修会の参加を呼びかけたり、研修ビデオを全職員で見たり、ホームにも、介護の本やDVDを置いていつでも利用出来るようにしている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			相互研修等への参加を積極的に行っている。研修に参加した職員にはミーティングの時などに気づきなどの発表をしてみんなで話し合いの場を持つようにしている。	
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			事前に生活状況や性格などを出来るだけ把握できるように努めて、本人や家族に希望を聞くようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○ 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入居前に家族の要望を聞き事業所としての対応などを詳しく説明している。	
17		○ 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人と家族の要望や求めているものを理解し、事業所として出来るかを話し合っている。	
18		○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 本人の思いや不安、また、好きなこと、食べ物、得意なことなどを把握し生活の中で支えあう関係を築くようにしている。	
19		○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 日頃から家族の方と話す機会を多く作り、本人からの希望や、訴えなどを家族に相談しながら、協力し合える関係作りに努めている。	
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 家族の方を中心に、なじみの人への電話や、相手の方の都合をお聞きしての訪問なども考えながら支援している。 (外部評価) 以前行っていた趣味の会のお友達数人が訪ねて来てくれたり、ご自宅のお花の水やりに帰り、近所の人とおしゃべりを楽しまれる方もいる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 朝からの声掛けの中で話を聞いたり、井戸端会議や食事やおやつの時も、空気を読むように心がけ、必要時は、仲介役をしたり、いていえる。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) サービス利用が終了しても、家族の方からの相談があれば、のっている。	
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者の方と過ごす時間を多くして、その中で本人の希望や関心を探り、笑顔が多く見られる場面作りをしている。その時の反応などにも注視し把握に努めている。	
			(外部評価) ご本人の言葉を申し送りノートや業務日誌に書き留め、職員で情報共有されている。ご本人が落ち着かないような時には、「本人がどのようにしたいのか」を探ることに努めておられる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 契約のときや、話し合いのとき、家族からの情報や資料を基に、その人らしい尊厳のある暮らしをテーマに、把握に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 生活のリズムを把握するとともに、会話を多く持てるような関係作りに努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			日常生活の中から、本人の困っていることやしたい事等を全職員で意見を出し合い、カンファレンス等でも話し合い、介護計画を作成している。	
			(外部評価)	
			「自宅に帰り畑仕事がしたい」等のご本人の希望をもとに、ご家族の希望や心配なこともお聞きして、介護計画に盛り込んでおられる。毎月のカンファレンスでモニタリングを行い、3ヶ月毎の見直しをされている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			個別に記録をし、必要事項は管理日誌や申し送りノートに記入し、毎出勤時に確認するようにしている。その中で必要であれば毎月のミーティング時にカンファレンスを行い情報の共有を図り見直しに活かしている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			本人や家族の状況に応じて、柔軟な対応ができっように心がけている。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			運営推進会議を活用したり、小学校からの児童の受け入れを行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			2週間ごとに1度の協力医療機関からの往診や、以前 からのかかりつけ医で継続される方もいる。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
			看護師資格をもつ職員が1週間に2回以上、また、緊 急時や必要時には、すぐに対応できる体制をとって おり、日常の健康管理など、いつでも相談できるよ うにしている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			入院時は医療機関と情報交換を行い、なるべく早期 退院できるよう家族とも相談している。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			ターミナルに対して協力医療機関の医師や家族など と必要に応じて話し合いを何度も行い柔軟な対応が 行えるようにしている。	
33	12		(外部評価)	
			重度化した場合や終末期のあり方について、ご本人・ ご家族の希望を聞き、事業所で出来ること、出来ない ことを説明されている。入院された利用者が「さくら に帰りたい」と言われ、医師、家族と話し合いを持た れて、事業所で看取られた事例もある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 必要時やミーティング時に対応の訓練をしている。緊急時のマニュアルを作成し職員全体に周知している。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 災害訓練を実施している。地域の方に協力していただけるよう働きかけているが十分とはいえない。 (外部評価) 避難訓練では、消防署への通報の仕方、利用者の誘導や消火器の使い方について訓練されている。緊急時の連絡網も整備されており、近くに住んでいる職員が駆けつけるようになっている。	夜間想定等、いろいろな場面を想定した避難訓練の実施や、近隣の方々との協力体制作り等もすすめていかれてほしい。地元消防団や防災組織等との連携も検討されてはどうか。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 利用者の方への接し方では、介護をしている、されているという雰囲気をかもし出さないように職員間で話し合い、気づかいの工夫をしている。 (外部評価) 調査訪問時「盗られた」と訴えておられる利用者の方に、代表者は、居室でお話を聴いておられた。又、「帰りたい」と言われる利用者の方に自宅まで職員が付き添われ、その後、ホームに帰って来られていた。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 声掛けの内容、タイミングには十分配慮し、本人の力量に応じながら、声掛けをし傾聴している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者の方と信頼関係を築くようにし、その話し合いの中で、ライフスタイルや、したい事を聞き出し、柔軟に対応できるようにしている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 起床時には着る服などもお聞きして、モーニングケアをし、理容、美容についても、要望をお聞きするよう努めている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 日常生活の中でどんな物が食べたいかお聞きして、調理の前の準備や、後片付けもできる限り要望を聞くようにしている。 (外部評価) 一人ひとりの好みや、食べたいものをお聞きしながら、食事の準備をされている。お好きなメニューの時には、調理を手伝われる利用者もいる。食事制限のある方もおられ、月1回、献立について管理栄養士の指導を受けておられる。ご自分で下膳されたり、食後のコーヒーをご自分で作って飲まれている方もあった。	利用者が食事作りの一連の流れの中で、かかわることができないだろうか。利用者主体の生活を支援するという点から、利用者個々のできることできそうなこと等も探って、支援につなげていかれてほしい。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事摂取量を毎食後記入している。月初めには体重測定を行い、食事は一汁三品から四品を目安に調理している。また、必要時には水分チェックをしている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後に、口腔ケアの流れが自然に出来るように声掛けをし、能力に応じて介助している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			排泄を記録しパターンを分析し、職員で共有し、ご本人に合ったアプローチを考え支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			必要に応じて繊維の多い食品を取り入れたり、歩行などの運動や腹部マッサージをしたりしている。それでも改善できない場合は主治医に相談している。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			日曜日は入浴はないが、他の曜日は昼からの希望が多いので、希望を聞きながら、また声掛けも工夫しながら支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			日中は午前中60分程度の体操や歌、散歩等で活動的に本人のペースで動いたり、休息したり、眠れるように支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) ファイルを作り職員全体が利用者の薬の効能、副作用について把握できるよう努めている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 本人の出来ること、興味があること、好きなことを把握しながら、集団の中でその方の役割を活かせるよう声掛けをしている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 散歩は希望時にはいつも行っている。また、水やりや花を見に歩かれたり、車椅子も利用し、出来るだけ外の空気を吸えるよう工夫している。 (外部評価) 日々散歩に出かけておられる。春には山菜を採りに出かけたり、夕日や季節の花を見に出かけられたり、公園やコスモス畑に出かけて楽しまれている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人の希望を大切にしながら買物の日や買出しの際の付き添いの声かけをし支援している。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 必要時はいつでも、電話をかけたり、手紙を出したり、できるように話をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			1～2ヶ月に1度は季節に応じた模様替えをしている。 食堂には花などの季節感のあるものを置いている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(外部評価)	
			居間には、利用者の方が生けた季節の花が飾られていた。神棚に手を合わされる利用者の方もいる。入居間もない方は、ご自分のお部屋を間違わないように、居室入り口に大きく名前を示しておられた。外出時や秋祭りの写真等が飾られていた。畳の間のこたつで横になっている方も見られた。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			テレビ、たんす、家族の写真などなじみの物を持ってこられている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(外部評価)	
			居室には、お孫さんからの手紙や絵が飾られており、ご本人の着物姿の写真もあった。ご家族が持って来られたアートフラワーも飾られていた。	
55			(自己評価)	
			その人にとって何がわかりにくいかを探し出し、話し合い改善点があればその都度対応している。	